

翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

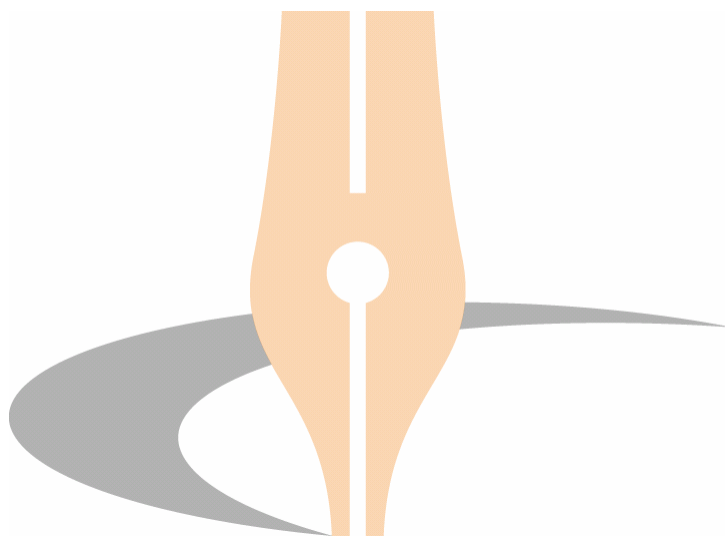
株式会社 翻訳センター 平成21年3月期第2四半期 決算説明会

<http://www.honyakuctr.com>

平成20年11月27日

大証ヘラクレス:2483

I . 平成21年3月期 第2四半期(累計)実績



1. 概 要
2. 分野別動向
3. 言語別売上高
4. 登録翻訳者動向
5. 損益計算書
6. 貸借対照表
・キャッシュフロー計算書

1. 概要

単位：百万円、%、円

	H19/9 中間	H20/9 2Q累計	増減		
			増減	伸率	期初予想
売上高	2,049	2,226	177	8.7	2,320
営業利益	141	149	8	5.5	170
経常利益	144	149	5	4.1	170
当期純利益	62	76	14	22.7	85
一株当たり純利益	4,817	5,829	—	—	

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=104円61銭で換算しております。

- 特許分野(14%増)、医薬分野(12%増)が全体の売上を牽引
- 順調な採用活動で人件費が増加したものの、米国子会社の収益改善により営業利益は増加

2. 分野別動向

① 売上高

単位: 百万円、%

	H19/9 中間		H20/9 2Q累計			
		構成比		増減	伸率	構成比
特許	749	36.6	855	106	14.1	38.4
医薬	609	29.7	682	73	11.9	30.6
工業	442	21.6	479	37	8.3	21.5
金融	210	10.3	179	△31	△14.5	8.1
その他	38	1.8	30	△8	△21.3	1.3
合計	2,049	100.0	2,226	177	8.7	100.0

② 受注件数

単位: 件、%

	H19/9 中間		H20/9 2Q累計			
		構成比		増減	伸率	構成比
特許	5,554	31.4	6,032	478	8.6	30.9
医薬	6,011	33.9	6,700	689	11.5	34.4
工業	4,188	23.6	4,621	433	10.3	23.7
金融	1,922	10.9	2,095	173	9.0	10.8
その他	39	0.2	30	△9	△23.1	0.2
合計	17,714	100.0	19,478	1,764	10.0	100.0

3. 言語別売上高

単位:百万円、%

	H19/9 中間		H20/9 2Q累計		
		構成比		伸率	構成比
英語	1,656	84.8	1,794	8.3	84.2
アジア系言語*1	91	4.7	94	3.2	4.4
ヨーロッパ系言語*2	85	4.4	87	3.3	4.1
その他	120	6.1	154	28.3	7.3
合計	1,953	100.0	2,131	9.1	100.0

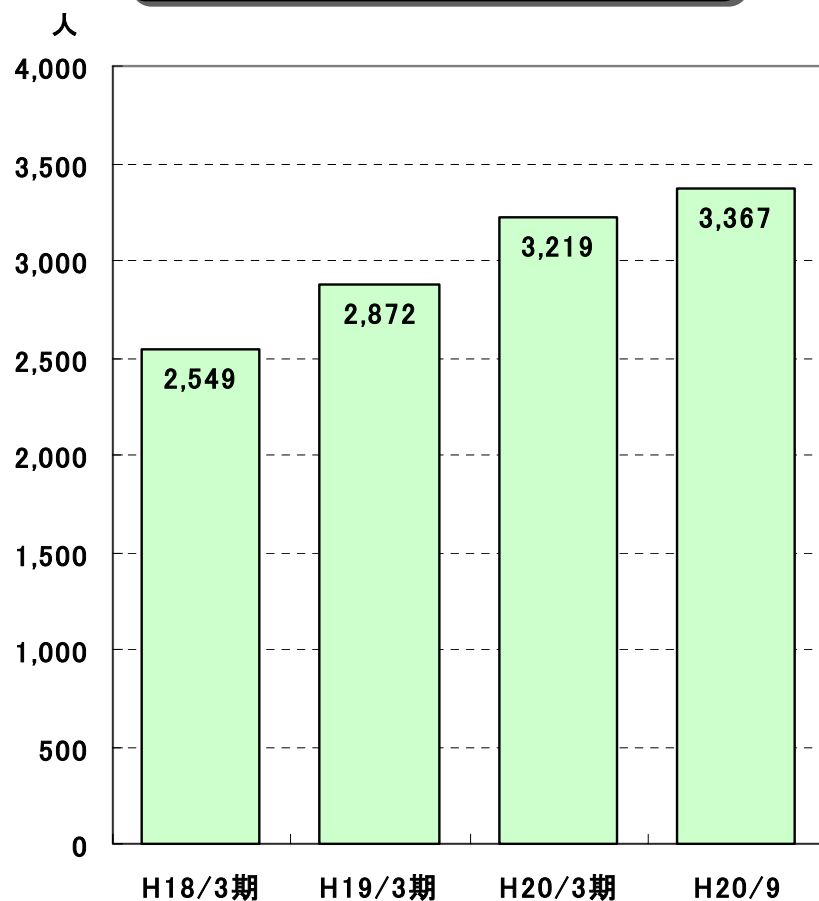
*1 中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語・ヒンディー語・インドネシア語など

*2 ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・ポルトガル語・オランダ語・北欧語・東欧語など

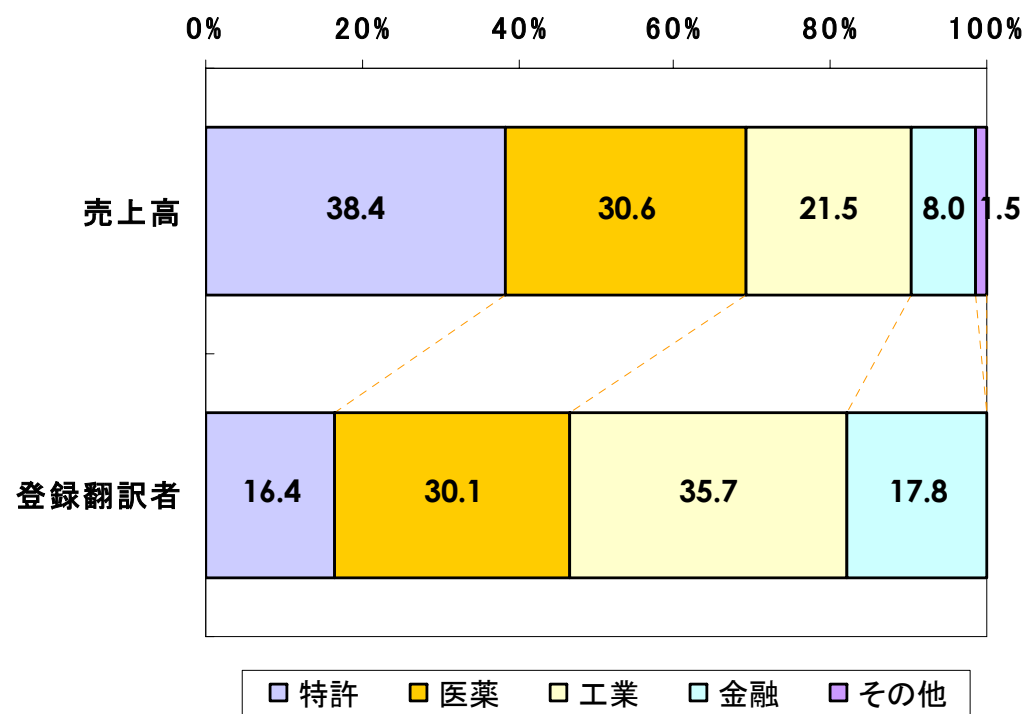
- その他(派遣など)翻訳周辺業務が増加
- アジア系言語ではベトナム語が、ヨーロッパ系言語ではロシア語が躍進
- BRICs分類では6.6%増

4. 登録翻訳者動向

登録翻訳者数の推移



分野別登録翻訳者割合



5. 損益計算書

単位:百万円、%

	H19/9		H20/9			
	中間	構成比	2Q累計	増減	伸率	構成比
売上高	2,049	100.0	2,226	177	8.7	100.0
売上原価	1,068	52.1	1,173	105	9.8	52.7
売上総利益	981	47.9	1,053	72	7.4	47.3
販売費及び一般管理費	839	41.0	904	65	7.7	40.6
営業利益	141	6.9	149	8	5.5	6.7
営業外収益	3	0.2	1	△2	—	0.1
営業外費用	0	0.1	1	1	—	0.1
経常利益	144	7.0	149	5	4.1	6.7
特別損益	0	0.0	△2	△2	0	0.1
税金等調整前四半期純利益	143	7.0	147	4	6.5	6.6
四半期純利益	62	3.0	76	14	22.6	3.4

6. 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

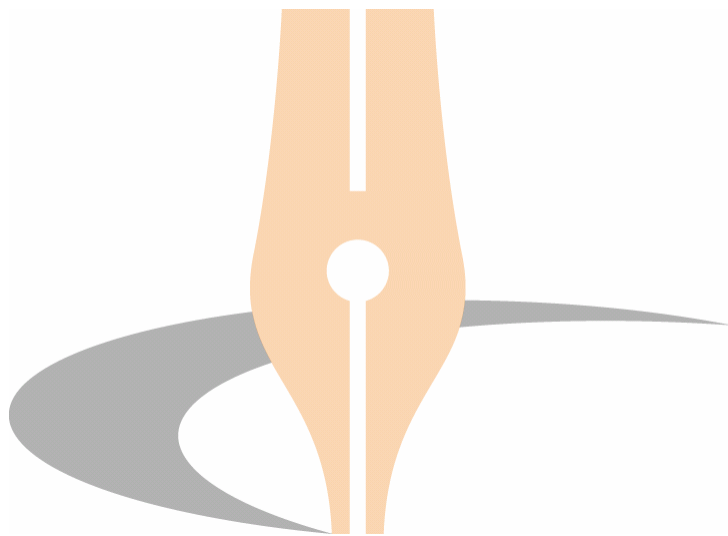
単位：百万円

単位：百万円

	H19/9末	H20/9末	増減
(資産の部)			
流動資産	1,757	1,879	122
固定資産	296	377	81
資産合計	2,054	2,256	202
(負債の部)			
流動負債	579	607	28
固定負債	119	124	5
負債合計	699	732	33
(純資産の部)			
株主資本	1,352	1,528	176
評価・換算差額等	1	△4	5
純資産合計	1,354	1,524	170
負債純資産合計	2,054	2,256	202

	H19/9	H20/9	増減
税金等調整前 当期純利益	143	147	4
営業活動による キャッシュフロー合計	△1	△14	△13
投資活動による キャッシュフロー合計	△27	△152	△125
財務活動による キャッシュフロー合計	△16	△47	△31
現金及び現金同等物 の増加額	△43	△213	△170
現金及び現金同等物 の期末残高	968	1,074	106

Ⅱ. 平成21年3月期見通し



1. 通期見通し
2. 分野別売上高(予想)
3. 損益計算書(予想)

1. 通期見通し

単位: 百万円、%、円

	H20/3期	H21/3期 (予)	増減	伸率
売上高	4,383	4,900	517	11.8
営業利益	403	480	77	19.0
経常利益	407	480	73	17.9
当期純利益	205	250	45	21.9
一株当たり当期純利益	15,786	19,098		
一株当たり配当金	3,500	4,000		

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=100円で換算しております。

- 人員の積極採用など先行投資負担が生ずるも、米国子会社の収益改善により
2桁増収増益を見込む

2. 分野別売上高(予想)

単位: 百万円、%

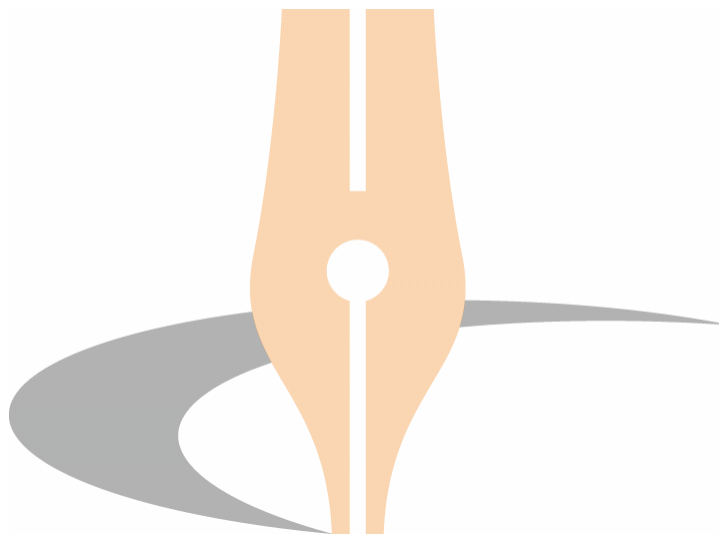
	H20/3期		H21/3期			
		構成比	(予)	増減	伸率	構成比
特 許	1,600	36.5	1,830	230	14.4	37.3
医 薬	1,297	29.6	1,460	163	12.6	29.8
工 業	968	22.1	1,080	112	11.6	22.0
金 融	444	10.1	450	6	1.4	9.2
その他	72	1.7	80	8	11.1	1.6
合 計	4,383	100.0	4,900	517	11.8	100.0

3. 損益計算書(予想)

単位:百万円、%

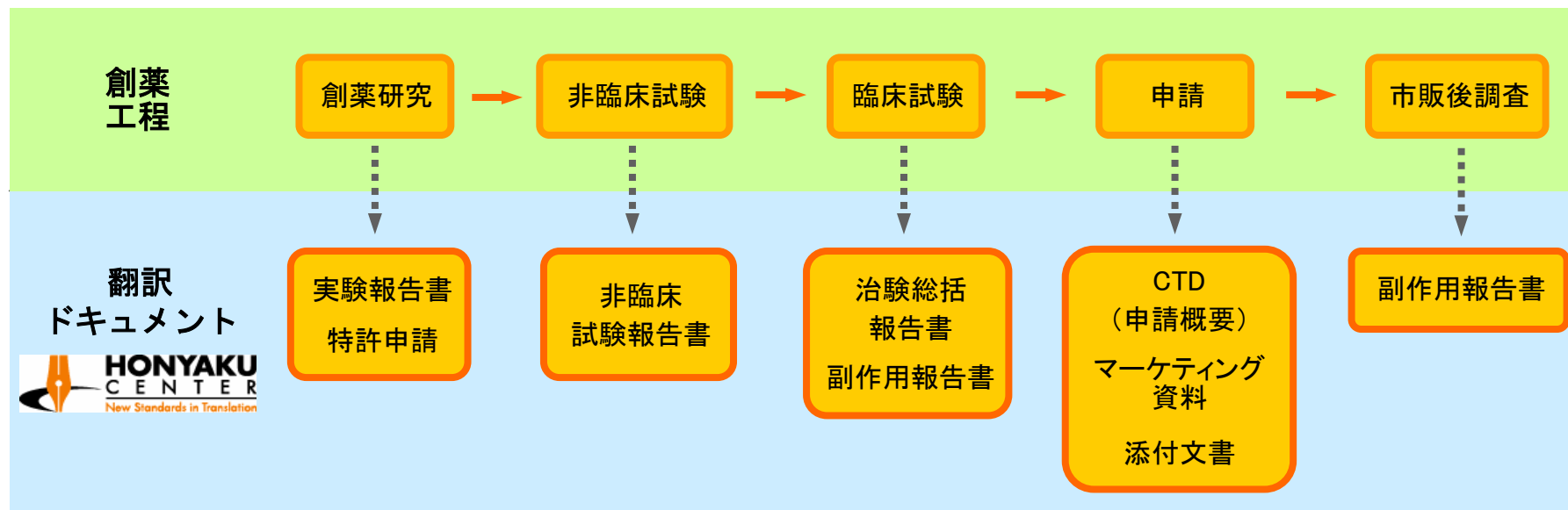
	H20/3期		H21/3期 (予)			
		構成比	増減	伸率	構成比	
売上高	4,383	100.0	4,900	517	11.8	100.0
売上原価	2,287	52.2	2,550	263	11.5	52.0
売上総利益	2,096	47.8	2,350	254	12.1	48.0
販売費及び一般管理費	1,692	38.6	1,870	178	10.5	38.2
営業利益	403	9.2	480	77	19.1	9.8
営業外収益	5	0.1	—	△5	—	—
営業外費用	1	0.0	—	△1	—	—
経常利益	407	9.3	480	73	17.9	9.8
特別損益	11	0.3	△10	△21	—	0.1
税金等調整前当期純利益	418	9.6	470	52	12.4	9.7
当期純利益	205	4.7	250	45	22.0	5.1

Ⅲ. 今後の経営戦略と重点課題



1. 景気後退局面での下方硬直性
2. 翻訳センターの財務基盤
3. 中期的な事業展開
4. 株主還元
5. まとめ

1. 景気後退局面での下方硬直性 (1) 医薬



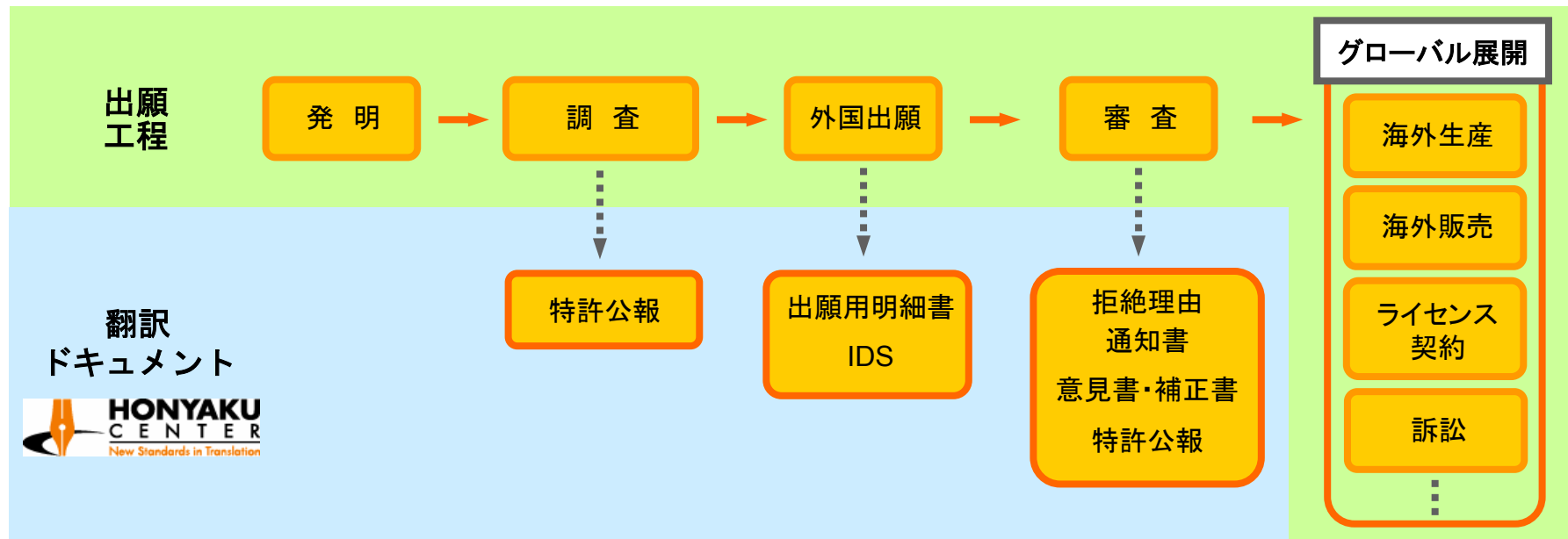
単位: 百万円、%

	H19/9 中間	H20/9 2Q累計	伸率
売上高	609	682	12.0

	H20/3期	H21/3期 (予)	伸率
売上高	1,297	1,460	12.6

医薬品会社のグローバル展開には翻訳が不可欠

1. 景気後退局面での下方硬直性 (2) 特許



単位: 百万円、%

	H19/9 中間	H20/9 2Q累計	伸率
売上高	749	855	14.1

	H20/3期	H21/3期 (予)	伸率
売上高	1,600	1,830	14.4

技術・製品のグローバル展開
には外国特許翻訳が不可欠

2. 翻訳センターの財務基盤

貸借対照表
(平成20年9月30日現在) (単位:百万円、%)

流動資産	1,879 (83.3)	流動負債	607 (26.9)
		固定負債	124 (5.5)
		純資産	1,524 (67.6)
固定資産	377 (16.7)		
資産合計	2,256	負債純資産合計	2,256

■ 流動資産

現預金: 869百万円

■ 純資産

自己資本比率: 67.55%

➡ 強固な財務基盤

3. 中期的な事業展開

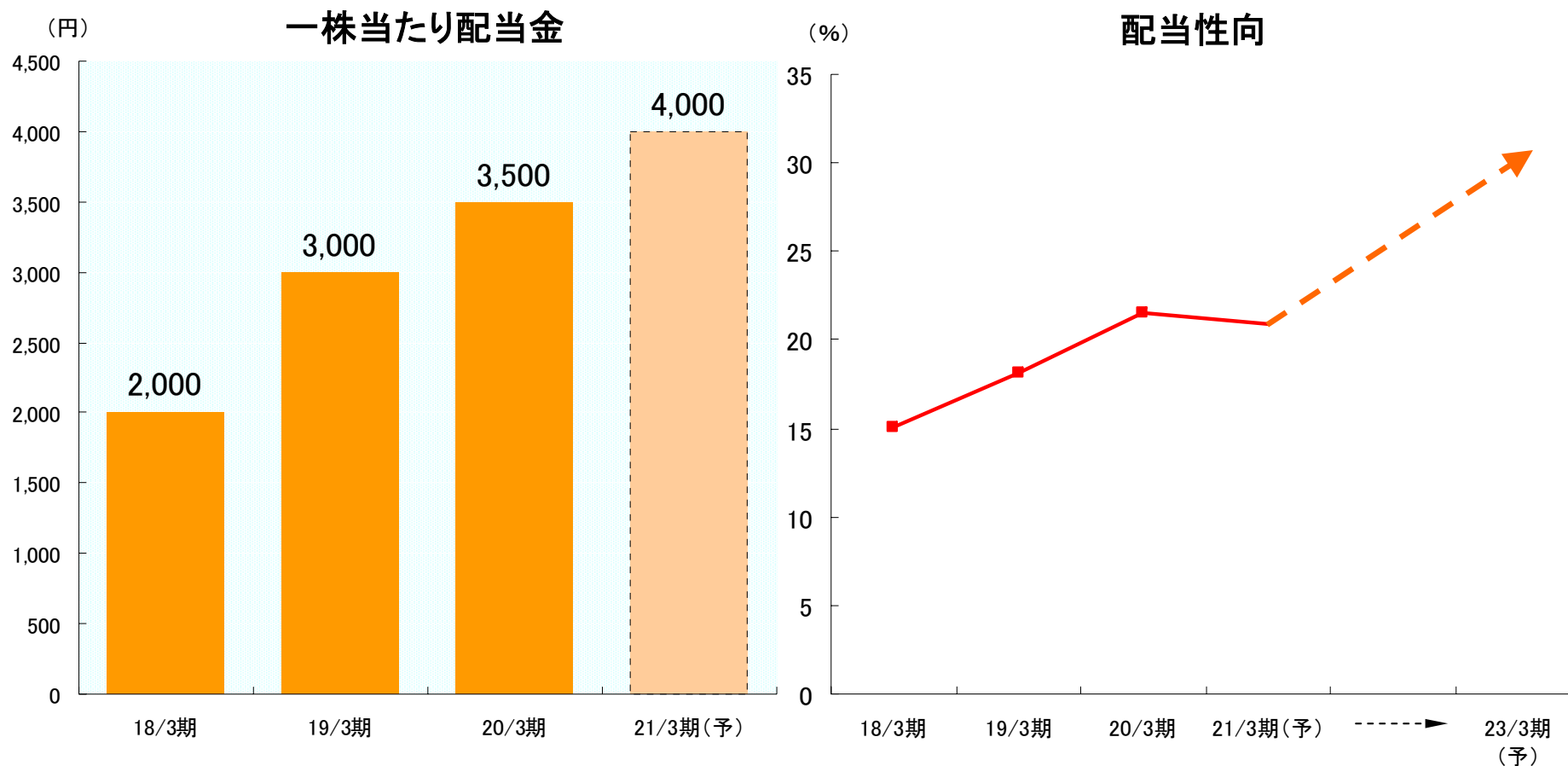
- ・在中日系企業に対し日本と同じレベルの翻訳サービス提供を目指し、「北京東櫻花翻訳有限公司」を中国・北京に設立
(平成20年8月より営業開始)

- ・「翻訳プラットフォーム」構築の基盤となるソフトウェア「Tra-Tool」(翻訳支援システム)の複製・改変の許諾を受ける
(平成20年6月より開発開始)

- ・語学力を備えた人材の派遣・紹介を目的とした人材派遣会社「(株)HCランゲージキャリア」を設立
(平成20年10月より営業開始)

4. 株主還元

利益成長に応じた継続的な増配を目標としてまいります



5. まとめ

■ 着実な売上成長と利益確保

■ 攻めと守りのバランスの取れた経営

■ 利益成長に応じた株主還元